

<第148号>

事務局だより

平成27年8月10日発行

現在の会員数

合計 244名

(男性 165名)

(女性 79名)

□ 互助会日帰り研修旅行

1. 日 時 9月11日(金) 午前7時40分集合(午前8時出発)
2. 集合場所 御幸公園前
3. 行き先 深浦町:不老ふ死温泉とマグロステーキ丼コース
4. 定 員 35名
5. 会 費 3,000円
6. 締 切 9月3日(木)までに会費を添えて事務局へ

※ フェイスタオル、バスタオル等は各自持参して下さい。

□ 平成27年度 傷害・賠償事故の発生状況(4月~7月末 現在まで)

▼ 傷害事故 2件

- ① 施設内の蛍光灯の交換作業時に、固定金具をしていなかった為、脚立が開いてしまい落下した。
 - ・ 男性 64歳(右膝大腿骨骨折) 入院(60日) 7月末完治
- ② ハシゴを使ってのリンゴ作業時に、バランスを崩し、地面に落下した。
 - ・ 女性 68歳(胸腰椎椎体骨折) 入院(61日) 現在リハビリ通院中

▼ 賠償事故 0件

□ 就業中に事故が発生した時の対応 ~ どうしたらいいの? ~

< 就業中、会員がけがをした時 > 適用保険: シルバー団体傷害保険

- ① 事故が起きた時は、すぐに事務局へ連絡する。
- ② 病院へ行く場合は、各自の保険証で受診し、治療費の精算は本人となります。
- ③ 保険金については、治療が完治した際、入院・通院の日数に対し、後日、支払われます。※ 治療にかかった費用が補償となるものではありません。

< 保障内容 > ・ 入院 1日 3,000円 ・ 通院 1日 2,000円
・ 死亡保障適用額 最高 900万円(状況によって異なる。)

< 就業中、会員が物を破損させた時 > 適用保険: シルバー賠償責任保険

- ① 物の破損事故が起きた時は、大小に関わらず、事務局へ連絡する。
- ② 賠償については、事務局とお客様で交渉し、シルバーの賠償保険で対応することになりますので、会員の皆さんは直接、交渉はしない様にして下さい。
- ③ なお、賠償責任保険には免責がある為、事故を起こした会員から免責分として、3,000円をお支払いいただくことになります。

☆ **就業時は、常に安全と事故防止に対する意識を心がけましょう!**

□ 熱中症からカラダを守りましょう！

「熱中症」とは、体の中の水分や塩分のバランスが崩れ体温の調整機能がうまく働かなくなり、体内の熱を外に出せずに、体に変調を起こす症状です。

《症 状》 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、意識障害、過呼吸、おかしい言動など

《 予防対策・・・こまめに水分・塩分を補給しましょう。 》

のどの渇きを感じなくてもこまめに水分をとりましょう。麦茶やジュース、スポーツドリンクでOKです。寝ている間に熱中症になることもありますので、寝る前にもコップ1杯の水を飲みましょう

□ 理事長のつぶやき ～ 汗と涙は感動する ～

第97回全国高校野球選手権青森大会の決勝戦が、7月22日に青森市営球場で行われ、八戸学院光星高等学校と県立三沢商業高等学校が激突、汗がしたたり落ちる炎天の下で正に死闘を繰り広げ、延長12回三沢商業が2対1で劇的な勝利を手中にした。

青森大会の決勝を何度も見て来た私だが、このような息を飲むような緊迫した試合は記憶になく、特に決勝点がバッターを三振に取りながらも暴投で入ったが、光星の中川投手はホームベース上で泣き崩れ、審判のゲームセットの合図まで立ち上がれず、ナインの手助けによって最後の挨拶をしたその光景を見て、不覚に私はテレビの前で涙をながしていたのである。勝負は本当に冷酷であるが、勝った三沢商業は何と29年ぶり2回目の甲子園出場を決めたが、戦前の予想ではノーマークで、あまり期待欠礼されていなかった。

ところが大会が始まると、シード校4校を撃破してしまったのである。

県立高校の甲子園出場は、平成8年の弘前実業高校以来、19年ぶりとなる快挙だったので、その喜びも一入であろう。それにしても、高校生の若い力というか成長力は、すばらしいもので、一試合毎にチーム力がアップし、ついには青森県大会68チームの頂点に上がったことは見事であり、指揮を取った浪岡監督と三沢商ナインには心から拍手を送って勝利を称えたいと思います。

また、惜しくも4期連続の甲子園出場を逃した光星ナインには、本当に残念な敗北になったが、何が起こるか分からないのが人生、辛く厳しいことがもっとあるということを肝に銘じながら、この悔しさをバネに替え、今後も努力を重ねてほしいものである。

特に、負けを背負うことになった恰好の投手の中川 優 君だが、野球が9人による点取りゲームで打てなかったナイン、そして的確な指示をお出せなかった監督の責任でもあると、私は声を大にして言いたい。勝った三沢商ナインには、青森県代表という荣誉と誇りを胸に、8月6日から阪神甲子園球場で開かれる全国大会で、この勝ちがブロックでなく、実力で勝ち取ったことを立証してほしいものである。それにしても、高校野球は汗と涙、砂埃の結晶あり、その健気な努力と気力、粘りが感動を与えることを大人も大いに見倣うものである。特に政治家の面々には、空虚を語るのではなく、本気で汗を掻き努力する姿を示してほしいものであるが……。

発 行 公益社団法人 黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

T E L 0172-52-5131

【緊急連絡先】080-6011-5131